

令和5年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	観光・イベント振興事業			整理番号	— —
				担当課係	商工観光課
事業予算費目	款	7	商工費	記入者職・氏名	
	項	1	商工費	内線等	431
	目	4	観光費	事業区分	経常事業
	大事業	1	観光・イベント振興事業	事業期間	令和 年 ～ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等					

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

「小松島港まつり」をはじめ、観光イベントは市民・県民に定着しており、毎年多くの観光客が訪れていることを踏まえ、新たににぎわいの創出するイベントを開催する。また、本市の魅力を高めるにあたり、地場産品を使った特産品等のブランディングやPR、体験型観光商品等のブラッシュアップを進めて、滞在型観光の定着を図っていく。また、アフターコロナを見据え、魅力ある圏域づくりを目指して、徳島東部地域の市町村やイースト徳島観光推進機構との連携による観光振興事業に取り組んでいる。

事業の内容	<p>手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）</p> <p>小松島港まつり等の観光イベント主催団体への補助や、小松島観光物産協議会を中心に、本市独自の観光地づくりを進める。徳島東部地域市町村が有する自然や歴史・文化等、様々な観光資源の発掘・魅力向上を図ることで、徳島東部地域の市町村と連携し、宿泊、体験型観光、地元素材の特産品化など、滞在型観光を企画し、関連産業の振興を図る。また、一般社団法人イースト徳島観光推進機構とも連携し、観光振興の推進を図る。</p>
事業の目的	<p>効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）</p> <p>観光イベント等を行い、観光客を呼び込むことにより、地域の賑わいの創出や観光・交流の場を広げ、地域や観光地等の活性化につなげるとともに、観光案内所運営、観光イベントの実施、地域産品のブランディングやPR、マスコットキャラクターを活かした観光PR等により、観光客の多様なニーズに応え、観光客の増加を目指す。</p>

■総合計画(後期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	基本目標	4. 活気あふれるまちづくり
			大項目	② 未来への活力を育むまちづくり
			中項目	4-4 観光の振興
			小項目	にぎわいの創出

(理由)

人口流出が続く現状において、交流人口の増加が課題となっており、成果指標においても、年間観光客入込数が示されていることから、本市の魅力を発信する本事業は総合計画との整合性が図られている。

■他の自治体の類似する政策との比較検討

アフターコロナを見据え、地域での滞在時間を増やすため、体験型観光や宿泊施設と連携した滞在型観光の普及や推進に注力してきている。本市においても滞在型観光の醸成やブラッシュアップを図り、滞在型観光のPRに取り組んでいる。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有)・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	市民及び観光客。
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	新たなイベントや施策に取り組み、賑わいの創出や観光客の増加を図り、交流人口・関係人口の増加に繋げる。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	にぎわいを創出する新たなイベントの開催や観光客の増加による地域の活性化や交流人口の増加。特産品などのPRやブランディングによる認知度の向上。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺状況等は今後どのように変化していくか)
	各自治体においてもアフターコロナを見据え、観光客の誘致やイベントの開催が顕著に増加し、地域間での競争が見込まれる。観光客獲得のため、広域での連携が重要となってくる。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	11,997	11,997				
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	26,444	26,444				
	A 直接事業費(千円)	38,441	38,441	0	0	0	0	
	人件費	正 規 職 員 数	1.00 人	1.00 人	人	人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	7,253	7,253				
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	0.00 人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 費 金 等 ②	0					
	B 人件費計(千円)①+②	7,253	7,253	0	0	0	0	
A + B	45,694	45,694	0	0	0	0		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある	理由	交流人口・関係人口の増加は、地域の活力に繋がる。				
		a <input type="radio"/> ない						
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない	理由	類似事業がない。				
	a <input type="radio"/> できる							
③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="radio"/> ない	理由	民間のノウハウを活かすことがより効果的である。					
	a <input checked="" type="radio"/> ある							
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。								
有効性	①							
	②							
	③	民間活力の導入						
所属長による総合的なコメント								
本事業は、本市のにぎわい創出や交流人口・関係人口の増加が見込める事業であり、県内外から観光客の入込みやその波及効果も期待できる。市内での宿泊や体験型観光を活用して市内での滞在を促す施策を実施するとともに、東部圏域の市町村と連携してイベントの開催やPRをすることで、より効果的な本市の観光振興を図る。								